



Yonago East Weekly

「自分にチャレンジ！自分に奉仕！そして、ロータリーを楽しもう！」

- 創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 TEL(0859) 32 - 5531
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 TEL(0859) 33-0911
- 会長/小谷維夫 ●幹事/永島清孝 ●会報/足立博俊

会員数88名

今週のお祝い

結婚記念祝: 2日 中山晴文君 5日 新納哲雄君
7日 細田耕治君 11日 安井峰男君 14日 鷲見雄司君
23日 村上一平君 24日 高橋孝之君、石部裕一君
26日 小土井秀明君 28日 中村剛士君

会長挨拶

皆さん、こんにちは。

先週は、青少年交換留学生の大塚美月さんの報告があるということで、楽しみにしていましたが、例会場に向かう途中、淀江町を過ぎたあたりの信号待ちで、軽自動車に追突されました。幸い丈夫な車で大丈夫でしたが、美月さんの報告を聴けませんでした。ただその夜の新旧引継のクラブ協議会の席上、石部会員さんから美月さんは英語も上達し、人物も一回り大きくなってたよ、とお聞きし、何よりうれしく思いました。この帰国報告で、無事に「青少年交換プログラム」は終了しました。委員会の皆様、特に永島委員長さんには本当にお世話になりました。ありがとうございました。

小谷年度は木美年度に引き継ぎますが、あと1月ございまして若干活動が残っております。インフォメーションがありますし、毎年恒例の「中海一斉清掃」は社会奉仕の戸田リーダーのお世話で行われます。また親睦委員会のお世話で「新入会員歓迎会」もございまして。

“チャレンジ100”は、継続してまいりましたが小谷年度も引継いでやりました。今日の澤さんの入会で88名、100名まであと12名となりました。

私の年度もあと1月ですが、ゆっくりとロータリーライフを楽しんでまいりたいと思っております。終りを迎えて、安堵の気持ちと寂しい気持ちもあります。ありがとうございました。

幹事報告

1. 本日 澤耕司君入会 88名
2. 5/25青少年交換プログラム引継会Inbound学生送別会並びに壮行会(倉敷国際ホテル) 小土井青少年交換副委員長 出席
3. ロータリーレート 1ドル100円
4. 6/5新年度クラブ協議会 18:30~ 3F
5. 6/4鳥取県インターアクトクラブ交流会のご案内 (レークサイド大栄)
6. 7/27~28第37回インターアクト地区大会のご案内 (くらしき山陽ハイツ)
7. 例会変更のお知らせ

鳥取中央 6/ 10(月) ⇒6/15(土)移動例会
ビジター受付あり
鳥取北 6/11(火) 移動例会 //

新入会員のご紹介 5/29入会



澤 耕司 君
(1955年12月24日)
趣味: 読書、旅、料理、
愛犬と遊ぶこと

日本交通株式会社米子営業所
(常務取締役)
米子市目久美町55
TEL 33-9111



Peace Through service

奉仕を通じて平和を

< プログラム >

「我が国周辺の動向等」

航空自衛隊美保基地 司令
一等空佐 野中 盛氏



皆さんこんにちは。

航空自衛隊のキャッチフレーズを3つ、ご紹介します。まず速度ですが、我が国の領空に不明機が接近しますとスクランブルをかけます。相手の不明機が領空に入ってくるまで、戦闘機のパイロットには5分以内の緊急発進を義務付けています。これは寝ている状態から5分です。そのため、いつも耐水服というものを着て寝ています。「航空自衛隊は1分にこだわる」と言うのが、1つ目のキャッチフレーズです。

次は科学技術の伸展ということです。第二次大戦の頃は、1目標に対して約9000発の爆弾を使っていました。1970年代は200発、爆弾を落とすところまでは地形などを解析しますが、落としたら神頼みでした。1990年代以降、1目標に1発となりました。これは爆弾が目標に向かっていく、ということです。「航空自衛隊は質の優越に、こだわる」ということです。

次は航空防衛力の役割ということです。警察力で対処できないときに防衛力を使うわけですが、航空自衛隊は警察的な役割も負っています。「航空自衛隊は今戦えるか、にこだわる」が3つ目のキャッチフレーズです。「戦える」というのは「戦争」ということではなくて、「動ける」という意味です。

ここからは周辺諸国の動きをお話します。

まずロシアですが、ソ連の崩壊後に一時軍の活動も低下しました。それが最近、極東での活動を活発化させています。また量から質への変革も進めつつあります。ロシア機に対するスクランブルもまた増えてきています。情報収集の飛行も活発化しています。

北朝鮮は、核兵器とミサイルの開発を進めています。ノドン、テポドン、ムスダンといったミサイルが長射程のもので、米国も射程に入ってきています。

中国は、この10年で国防費が3から4倍になっています。特に海軍の活動が活発化しています。各地で領土問題を起こしています。隠れた国防費の実態は、かなりのものと思われます。南シナ海、東シナ海のみならず、太平洋にも活発に進出しようとしています。中国機に対するスクランブルも、ここ3年で急増しています。ほとんどが尖閣周辺です。

全国28か所のレーダーサイトで監視していますが、空飛ぶレーダーサイトと言われる航空機も活用しています。領空侵犯をする恐れのある航空機が出た場合には、戦闘機を発進させて監視をします。それから言葉などで警告します。さらに強制着陸、警告射撃をします。それ以上になると、政治判断になります。スクランブルは、各地から出ます。

最近急増しているのが、尖閣への中国機のアプローチ、それに対するスクランブルです。那覇基地の陣容では間に合わないのが、他から持ってきて対応している状態です。今、自衛隊の空白地区の与那国島への自衛隊の配備も検討されています。島の防衛については、米国海兵隊に習いに行き陸自でノウハウを積んでいます。

オスプレイですが、ヘリコプターと飛行機の良いところを持っています。航続距離も長く、空中給油もできます。

今、「空飛ぶ広報室」という番組をやっています。また、その番組宣伝に美保基地の隊員も出ていますので、是非ご覧ください。

自衛隊に対する御理解御支援が、我々のやる気につながりますので、引き続きよろしくお願ひします。

次回プログラム

6/5 「ロータリーの友」紹介
村上一平 会員
「理事退任報告」 ① 田淵 理事
② 新納 理事
③ 尾沢 理事

今後の予定

6/ 5 新年度クラブ協議会 18:30～
6/ 9 中海一斉清掃 8:30～
6/12 新入会員歓迎会 19:00～
(芭蕉庵 駅前店)
6/26 夜間例会 (ホテルサンルート米子)
6/29 米子東・南RC合同親睦ゴルフ(大山平原ゴルフ)